第77回 クイズ

ふるって
ご応募ください

※公園名ではなく、町名でお答えください。

応募方法

○官製はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局へお送りください。余白に、議会へのお便り、要望、意見、イラストなど書いていただければ大歓迎です。

○正解者の中から抽選により、五人の方に図書カードを送ります。

○○締め切りは七月二十日(消印有効)です。

○○あて先

〒736-8601　海田町上市一四-一八
(海田町議会事務局)

※ご応募いただいた方の個人情報は、ご意見などへの回答や抽選、図書カードの発送以外の目的には使用しません。

前回の正解は「寺迫二丁目」でした。

公園の名称は、「寺迫二丁目コミュニティ広場」です。応募総数二五通(正解二三通)でした。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

中央大学大学院教授の佐々木信夫さん

去る5月24日、KKRホテル広島で行われた県内町議会議員研修会に参加しました。

研修会では、中央大学大学院教授の佐々木信夫さんによる「分権時代の地方議会」と広島大学原爆放射線医科学研究所所長の神谷研二さんによる「放射線の人体への影響と福島原子力発電所事故」と題した講義を受けました。

平成12年の自治法改正により、国の権限と指揮監督権が地方に移譲され、地方公共団体の自主性・自立性が拡大され、それに伴い議会の役割も大きく変化してきました。

地方分権が進む中、議会改革の必要性や議会と首長との関係など、これからの地方議会のあり方について学ぶことができました。

広島大学原爆放射線医科学研究所所長の神谷研二さん

編集後記

昔から「焼け野の雉子」とのことわざがあります。春になると、キジは畑や藪で子育てをしますが、野焼きの時に野火が迫ってきても雛鳥の元を離れることはありません。どんな危険な目に遭っても身をもって子どもを守り抜く親の深い愛情の象徴とされ、キジは日本の国鳥に選定されています。

しかし現実を見ると、全国の児童相談所で対応した児童虐待件数は、平成二十一年度に四万四千二百十件で過去最多を記録する痛ましい実態です。

本町では、母親の育児不安などが虐待の温床にならないようにと「こんにちは赤ちゃん事業」に取り組んでいます。

今後も「児童虐待死ゼロ」をめざし、行政と地域が一体になった取り組みが欠かせないと思っています。

(W)